

2025 年 3 月 27 日
No. 2024-047

バルクキャリア “FRONTIER HOPE” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、3 月 27 日(木)、有明事業所(熊本県玉名郡長洲町)にて SOUTHERN ROUTE MARITIME, S.A. (サザン ルート マリタイム エスエー) 向けに建造していたバルクキャリア “FRONTIER HOPE” (フロンティア ホープ)を引渡しました。

本船はフランスのダンケルク港要求を満足する最大船型で、最新の省エネ技術を織り込み、当社が開発した環境性能に優れた N-181,000DWT Type Bulk Carrier の 8 番船です。

【本船概要】

主要寸法 : 全長 292.0 m x 幅 45.00 m x 深さ 24.55 m x 喫水 18.234 m
総トン数 : 93,691
主 機 関 : MAN-B&W 7S60ME-C10.6-HPSCR Type Diesel Engine 1 基
定 員 : 25 名
船 級 : NK
船 籍 : Panama

【特徴】

・ GHG (Greenhouse Gas) 排出規制である、EEDI (Energy Efficiency Design Index) に対しては 2025 年以降の契約船に適用される Phase3 レベルを先取りして満足しております。

・ 最新の解析技術による低抵抗・高効率を追求した最適船型を開発、併せて、弊社独自の省エネデバイスである Super Stream Duct®、SURF-BULB®、ALV-Fin®の最適化により、大幅な燃費削減を達成しています。

・ LEADGE-Bow®と呼ばれる船首形状、及び、新騒音規則にも配慮した低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上させています。

・ 電子制御エンジン、低摩擦塗料、大直径プロペラの採用により、燃費性能を向上させています。

・ バラスト水处理装置の装備、有害物質一覧表の保持、NOx 排出規則 Tier III に適合するなど、様々な環境規制に対応しています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れたコンテナ船をはじめとした最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。

